

# 小林 朋道

KOBAYASHI, Tomomichi



副学長補佐(研究・社会貢献・国際交流担当) 兼 副学部長  
兼 環境情報学部環境マネジメント学科長  
教授

所属…環境学部 環境学科  
大学院 環境情報学研究科環境情報学専攻 (社会環境学領域)

t-kobaya@kankyo-u.ac.jp

Profile

<b>主な担当科目</b>	生物学概論, 自然環境保全概論, 動物行動学
<b>研究者略歴</b>	
1981 (昭和56) 年 3月	岡山大学理学部生物学科卒業
2004 (平成16) 年 1月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科助教授
2006 (平成18) 年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境政策学科・大学院環境情報学研究科教授
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科教授
2014 (平成26) 年 4月	鳥取環境大学副学長補佐(研究・社会貢献・国際交流担当)

Research

<b>取得学位</b>	理学博士 (京都大学)
<b>専門分野</b>	動物行動学, 進化心理学
<b>現在の研究テーマ</b>	・人と自然の精神的関わりに関する動物行動学的解析 ・脊椎動物の行動や生態に関する研究とそれに基づいた生息地保全活動
<b>受賞歴</b>	1993 (平成5) 年4月 岡山県野崎教育賞
<b>所属学会</b>	日本動物行動学会, 人間行動進化研究会, 日本生態学会, 日本魚類学会, 日本環境教育学会

Data

<b>研究等活動</b>	
<b>【著書】</b>	
・「ヒト、動物に会う コバヤシ教授の動物行動学」(単著) 2014年3月、新潮社	
・「絵でわかる動物の行動と心理」(単著) 2013年4月、講談社	
・「なぜヤギは車好きなのか? 鳥取環境大学のヤギの動物行動学」(単著) 2012年5月、朝日新聞出版	
・「利己的遺伝子から見た人間」(単著) 2012年3月、PHP研究所	
・「先生、キジがヤギに縄張り宣言をしています! 鳥取環境大学の森の人間動物行動学」(単著) 2011年3月、築地書館	
・「ヒトはなぜ拍手をするのか-動物行動学から見た人間」(単著) 2010年12月、新潮社	
・「働感研究の方法」(分担著)、2010年8月、人類働感学会	
・「タゴガエル鳴く森へ出かけよう!」(単著) 2009年6月、技術評論社	
・「先生、シマリスがヘビの頭をかじっています! 鳥取環境大学の森の人間動物行動学」(単著)、2008年10月、築地書館	
<b>【論文】</b>	
・巣箱利用から見た鳥取県芦津渓谷におけるニホンモモンガ、ヤマネ、ヒメネズミの生息場所選択性 (単著)、鳥取県立博物館研究報告、第50巻	
・ニホンモモンガ Pteromys momonga 成獣による巣内同居の誘発要因の分析 (単著)、2013年1月 鳥取県立博物館研究報告、第49巻	
・鳥取県芦津渓谷のニホンモモンガ Pteromys momonga の生態的諸知見 (単著)、2012年12月 自然環境科学研究 第25巻	
・Why do small Japanese flying squirrels Pteromys momonga prefer to use bark of Japanese cedar as a nest material? (単著)、2012年12月 Natural Environmental Science Research 第25巻	
・動物行動学から見たヒトの脳のクセ (単著)、2012年8月 学士院会報 第895巻	
・鳥取県智頭町芦津森林で見られた樹上性齧歯類や潮流の巣箱の使い分け (単著)、2011年3月 鳥取県立博物館研究報告	
・A preliminary study of aggressive behavior in Siberian chipmunk Eutamias sibiricus pups: the behavioral pattern and its possible antipredator function (単著)、2010年6月 鳥取環境大学紀要	
・ヒメネズミ Apodemus argenteus の幼獣で発見された捕食者の臭いに対する新しいタイプの行動 (単著)、2010年3月 山陰自然史研究	
・樋門近くの河川敷に創出した水場へのスナヤツメとアカハライモリの定着・繁殖 (単著)、2010年3月 鳥取県立博物館研究報告	
・アカハライモリの幼体および成体の陸上での分布状況 (単著)、2009年4月 自然環境科学研究	
・Genetic characteristics of local populations of the fluvial eight-barbel loach (単著)、2008年12月 Nat. Envir. Sci. Res	
・Why do boys prefer to play with their fathers rather than with their mothers? (単著)、2008年12月 Journal of Human Ergology	
・鳥取・岡山両県のナガレホトケドジョウにおける生息地環境・餌・体長の状況 (単著)、2008年12月 山陰自然史研究	
・アカネズミ Apodemus speciosus におけるヘビに対する反応の解析 (単著)、2008年4月 自然環境科学研究	
・鳥取市の低地河川敷で見られたアカハライモリにおける変態後の幼体の初期の移動場所 (共著)、2007年 自然環境科学研究	
・自然体験と擬人化思考: コモンズの悲劇から環境問題を考える。2006年11月 生物科学	
・ブナ科4樹種の堅果に対するアカネズミ Apodemus speciosus の行動の差異。(共著) 2005年 自然環境科学研究	
・Ethological analysis of children-parent interaction in outdoor play. (単著) 2004年12月 Journal of Human Ergology	
・自然水辺公園における親子の遊び行動の解析およびそれにもとづいたデザインに関する案。2004年 環境情報科学	
<b>【社会貢献活動】</b>	
・「動物行動学から見た動物やヒト」, 「野生動物の保全活動」についての講演	
・野生生物の生息地の保全と結びつけた地域の活性化活動	